

苫小牧市教育委員会会議録

| | |
|---------|--|
| 会議区分 | 苫小牧市教育委員会第7回定例委員会 |
| 日時 | 平成18年5月26日 自 15時04分 至 15時34分 |
| 場所 | 苫小牧市役所庁舎9階第1委員会室 |
| 出席委員 | 委員長 吉本俊憲 委員 鈴木正樹 委員 佐藤郁子 委員 佐藤守 委員 山田眞久 |
| 欠席委員 | |
| 会議録署名委員 | 鈴木委員 |
| 会議録作成職員 | 総務課総務係主事 上川裕樹 |
| 事務局職員 | 学校教育部長 小玉孝幸 スポーツ生涯学習部長 今田和史 総務課長 照井進 総務課副主幹 池淵雅宏 総務課総務係主事 上川裕樹 |
| 会議案件 | 別紙のとおり |
| 会議の経過概要 | 別紙のとおり |

| |
|---|
| 1 委員会開会の宣言（吉本委員長） …15時04分 |
| 2 会議録署名委員の指名（鈴木委員） |
| 3 報 告（山田教育長） |
| (1) 市長辞任について |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月18日のマスコミ報道以来、市長動向が注目されていたが、去る22日守屋市議会議長に辞職願が提出され、29日に臨時議会が召集される旨の告示があった。案件は辞職の承認及び選挙のための補正予算案等になる予定。 ・ 市長任期は31日までで、この間は現市長名義で事務処理が続けられるが、6月1日からは熊木助役が職務代理人となって決裁の責任者となる。 ・ 6月2日の春の叙勲祝賀会は代理人である助役が執り行い、続く市長選挙については、7月2日が告示、投票・開票日は9日とすでに選挙管理委員会で決定している。 ・ 不祥事による今回の突然の市長辞職は誠に遺憾であるが、教育委員会としては、学校・児童生徒、保護者に動揺や不信感を与えることなく、安定した教育行政の維持・継続に誠意を持って努めて参らなければならないと考えており、各学校に教頭会議の席で説明と理解を求めたところである。 |
| (2) 最近の事故・事件から5月定例校長会議等で話した内容について |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 山形県飯豊町で、隣家の24歳の青年に一家3人が襲われ、2人が亡くなるという事件が起きた。背景には「小学生のころにいじめを受け、恨みを持っていた」ということで、10年も前の心の傷が陰湿な思いを蓄積させ、突然現れたのはなんとも恐ろしく、結局被害者も加害者も不幸な結果になった。本市では、いじめの報告例は平成5年の72件が最大で、この前後に列車飛び込み自殺があったころでもあるが、今は年4、5件と激減しているものの、いじめは死に至る危険性を伴っており、いじめは無いのではなく潜在化していると考えて、見逃すことのないように、聞き取りやアンケートなどで常にア |

| |
|--|
| <p>ンテナを張ってほしいと話したところである。</p> |
| <p>・ 連休中の5月5日に、若者による公共物の破壊事件があった。被害施設は教育研究所の玄関と指導センターの窓ガラス、指導センターの公用車のリアウインドー、勤労青少年ホームの窓ガラス、さらに科学センターに来て駐車中の車6台ほどが傷つけられた。犯人はすぐに逮捕されたが警察の情報提供はなく、市教委は被害届けを出した後、18歳の若者が犯人であると知らされた。去年は4月に緑ヶ丘公園の木製遊具が壊され、5月に川沿公園の健康ベンチが燃やされ、中学生が目撃されている。それから、6月体育祭のころ校舎窓ガラスの破損へとつながりました。この時期は交友関係と行動半径が広くなりがちで、規範意識・倫理観・迷惑をかけないなどの道徳的判断力の育成、さらに自己実現を目指す生徒指導は「心の教育・生き方指導」の両輪であり、児童生徒の共感理解に努めるよう注意をお願いした。</p> |
| <p>・ 札幌の小学校に「お宅の学校の子どもを殺す」という脅迫電話が入り、学校は集団下校や教師・地域が登校時にも街頭指導を行った。5分程度の間連続していることから、いたずらと考えられるが、今日の不審者への警戒上、学校も緊張感を持って対応していた。本市でも過去に「子どもを誘拐する」とか「私自殺します」という電話がかかって大騒ぎになったことがある。電話を取った人は突然の訴えにパニックとなって、肝心の聞き取りができなくなってしまうようで、事前に想定した対応が必要となる。基本はよく聞こえませんか管理職に変わりますなどと言って、相手を落ち着かせ時間を稼ぐことが必要だが、別件で教員の奥さん相手に「今、旦那さんが子どもを怪我させたので示談金が必要だ」あるいは「旦那さんがセクハラの不祥事を起こしたので和解金をすぐに振り込め」などという電話もあり、こうした電話の対応にも注意が必要であると話したところである。</p> |
| <p>・ 札幌の中学校で連続して給食への異物混入事件があり、一步間違えれば命の危険も考えられたものの、今回は単なる嫌がらせ・悪ふざけと考えられている。背景にはずさんな理科室の薬品等の管理、配膳するまでの手順や管理を見直して、先生が給食準備の時間に教室にいることも必要である。本市でも以前にチョークの粉や消しゴムかすが入れら</p> |

| |
|---|
| <p>れたことがあり、今回の事件で模倣犯が出やすいことから、各学校に注意を呼びかけたところである。</p> |
| <p>(3) 北海道都市教育長会議・全国都市教育長会議総会・研究会の参加報告について</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 5月11日に美唄市で開かれ、全道35市中31市が出席し、主として19年度の文教施策要望事項、役員選考・事業案件を協議した。この席上、今年滝川市で開催される「都市教委連・教育長会定期総会」は8月29日から30日と発表され、次年度の開催地は道南ブロックとなり、本市と小樽市に絞り込まれた結果、小樽市が内諾していただいたので今後、正式に発表がある予定。 全国都市教育長会議総会と研究会が5月17日から18日に佐賀市で開催され、参加した。総会・文部科学省講話・記念講演に引き続き、教育行政・学校教育・社会教育の三部会に分かれて詳しい説明を文部科学省主任視学官から聞くことができ、教育基本法・学習指導要領改定状況・特別支援教育・学力テスト・学校評価など今日的課題が山積している中、大変参考になった。今後、委員さんにも一部資料を提供したいと考えている。 |
| <p>(4) その他</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 教育長交代で、新むかわ町の木澤省司氏、安平町の豊島滋氏が着任挨拶に見える。 |
| <p>4 議 案 審 議</p> |
| <p>議案第1号 教育費補正予算について</p> |
| <p>(小玉 学校教育部長より 提案理由説明)</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 株式会社 久慈重機様より会社創立30周年記念ということで、100万円を教育施設整備基金への指定寄付されたことに伴う補正 |
| <p>— 原案どおり可決 —</p> |

